令和6年度第3回宇城市総合計画審議会

日時	令和6年12月20日（金）14:00～
場所	宇城市役所新館1階第4会議室
出席委員	井田委員、本間委員、植田委員、柴田委員、今泉委員、高橋委員、池田委員、濱崎委員
欠席委員	百家委員
事務局	元田市長政策部長、小野田企画課長、企画課企画統計係職員

【議事要旨】

（1）（仮称）次期宇城市総合計画素案について

井田会長	拠点づくりと立地適正化計画とは整合性がとれているか。
事務局	整合性がとれるよう記載している。
井田会長	立地適正化計画というのはある意味規制の施策になるので、より行政サイドがどのようなまちにしたいのかということが分かりやすくなるようにする必要がある。 人口の著しい減少を食い止めたいということではあるが、本文にもあるように人口減少を前提として立適に従って色々な土地利用について誘導していくということだと思う。 拠点をそれぞれどうつくるかというのは個別計画になるだろうが、拠点の特色というのも個別計画になるか。
事務局	総合計画上では個別の拠点をどうつくるかという詳細までは難しい。大きな方向性ということでもう少し盛り込めたらと思う。
委員	新しい都市マスとの整合はとれているか。
事務局	とれている。
委員	さっき拠点づくりというのがあったが、小川駅周辺の拠点性を高めるとというのが都市マスに描かれていると思う。そういうところで言うと、小川は商業核というところにあたるか。 今、小川駅当たりの再開発、計画が進んでいると思うが、商業エリアという感じではなく、駅を中心とした住むところ中心の開発になるんじゃないかなと思っている。そのあたりが素案の書き方では商業を重視しているような感じにとれる。 あまり商業と住宅地を完全に分けて考えるような規模ではないとおもうので、商業も住宅も混在するような考え方があっても良いのでは。 住みやすい、住み続けたいという事であれば、住むところ、仕事をするところ、買い物をする所はなるべく近い方がコンパクトシティの考え方からすると良いので、商業・業務というのと住宅地という二分するような書きぶりだと少し違うのかなと感じてしまう。そこにも中心部の駅前居住だとか、居住と商業のバランスがとれる開発などそういったところを入れても良いのでは。今後は商業、住宅、働く場という全部が一緒になる、ただし、それらが環境を悪化させないように作っていくというような方向性が良いのかなと思う。 細かい話になるので、総合計画では書かないのかなと思うが、熊本市とかだと総合計画の中に空き家、空き地などの空いてしまったスペースをどうするのかということも含む。空き家などがまちの中にあればそういったものを積極的に活用することを考えると、総合計画の中にもそのような文言が入っていると下位の計画を立てるときに立てやすいと思う。 やはり住みやすいということをお願いするのであれば、「住む」ということを中心に描かれていた方が良いのかなと思う。
事務局	都市マスの担当と検討する。
井田会長	コンパクトシティを進めましようと言われているが、まちの規模によると思う。ある程度大きいところは分けてゾーニングすることになると思うが、小川のあたりであれば、こっちは住宅地で、こっちは商業地というようなエリアではないかもしれない。 土地利用構想の「業務・商業核」のところに「宅地」とかの文言を入れて、「住宅地」のところに「空き家・空地」の文言を入れておけば良い。 その辺りは都市マスの担当とも意見交換していただければと思う。
委員	新聞に三角町の人口が随分減っているというのが掲載されてショックを受けているところであるが、そういった中で、拠点づくりの中でのそれぞれの地域の特性を活かしたまちづくりという風になっていくことを期待している。 12ページの将来都市像のイメージについてだが、第2次が「ちょうどいい！」が最初に来て、耳あたりが良い、ずっと入ってくるような良いキーワードだったと思う。「ちょうどいい」というのに対して、その次の言葉ということであれば、コンパクトでインパクトのある、耳にずっと入ってくるような言葉からスタートすると良いのではないかなと思う。
事務局	今回の素案にはイメージとして記載しており、皆さんのご意見も参考に検討したい。
委員	「やっぱり」というのは宇城市からどこか違うところに行って、帰ってきてから言う言葉だと思うので、宇城市に住んでいる人達に言うのは違和感がある。
事務局	「ちょうどいい」からステップアップして、「ちょうどいい」から「ここがいい」ということからイメージをしたところ。そういう目線で言うと、「ちょうどいい」から「ここがいい」、「ここがいい」からその次につながる何かキーワードというものがあれば、更に長期的な視点で考えられるのかなと思っている。

井田会長	「やっぱり」をとって「ここがいいと言いたくなるまち 宇城」でも良いのかなと思う。
委員	僕も「やっぱり」というのにちょっと引っかかって、委員が言われたような印象で、従前従後の比較対象が必要なのかなど。その指標は4つの目標であったりが達成されていて、その結果、これが達成されるということで結構ハードルが高いのかなと思う。 「ここがいいと言いたくなるまち」というのは、後の方にある進行管理の指標とはマッチしているので、それさえ管理していけば繋がっていくと思うが、「やっぱり」にちょっと引っ掛かった。
委員	「ちょうどいい！」のビックリマークというのが、宇城市民から見慣れているからというのものもあるのかもしれないが、よく使っているフレーズだと思う。だから「ここがいい！」でも良いのかなという感じもあるが、ただ、「言いたくなる」という言葉がちょっと、違うんじゃないかなと思う。 2次の「実感できる」という言葉も割とずっと入ってくる感じだったので。
井田会長	あえて「言いたくなる」のフォローをするならば、宇城市の認知度が低いので、言いたくなるようなまちにしたいということかと思う。
委員	「ここがいい」というキーワードは良いなと思ったし、「やっぱり」というのも引っかかるということはキャッチーだということでもあると思う。 どこかに出て戻ってきて「やっぱり」というのもあるかもしれないが、宇城に住んでいて色々なまちを見ても、熊本市内より宇城が良いなと感じるとか、隣町よりもこっちが良いなと感じるとか、改めて客観的に考えてもここがいいいなという話かなと私は捉えたので、あまり「やっぱり」という言葉に対してはネガティブな印象はなかった。 ただ、「と言いたくなる」がフレーズとして長いというか、説明になっている。2次が「ちょうどいい！」で止まっていたので、「ここがいい！」で止めて、そのあと「ながく住みたいまち」とか付ければ良いのかなという風に思った。 前回と同じ書きぶりというか、最初にキャッチコピーがあって、そのあとどんなまちにしたいかというのを付ければ良いのかなと感じている。 「やっぱり」というのも、私は外の人間だからかもしれないが、ちょっとアツと思うのでコピーとしては良いのかなと思った。
井田会長	総合計画なので、住んでいる人もやっぱりここがいいねというようなということで、説明になっている「と言いたくなる」をカットすればフレーズ的には良いのかなと思う。
委員	宇城は農業が結構重要な産業だと思うが、農業についてがあまり書き込まれていないような、美味しい食べ物をつくるといったことのようなものが、第二次産業についてはがっつりTSMCの名前まであって、名前入れているのかなとも思いながら、ただの一企業なのに名前を入れちゃうのはどうかなと思うが。 農業って結構大事だと思うので、農業についての目標というか計画というのがどこかで語られると良いのかなと思うがいかがか。
事務局	言葉として農業というのは出していないが、「活力ある魅力的なまちづくり」のところで「地域産業」の中に含めているつもりであった。分かりづらいということであればもう少し考えたい。
委員	ただ、それはやっぱり経済の観点から農業を語っているのであって、食料自給の観点や食料を守るとか食生活のことを考えた意味で農業という話が重要かなと思う。特に熊本県の市町村というのは農業が大事にしないとイケないかなと思うので。 下位計画を考えると、農業を大切にしないとねということがあった方が良いのかなと思う。熊本市でさえ農業というのは結構大きな項目で入れ込んでいるので、ぜひ農業についても書き込んでいただいた方が良いかなと思う。
井田会長	土地利用構想のところで商業・工業というのは使われているが、農業というのがない。自然的エリアのところに農地があるが、それは農地、山林、河川で分かれているので。
委員	そこが土地利用なので、農業の営みではないのかなと思っていて。やっぱり農業の営みには産業的側面、経済面があるが、それ以上に食の安全とか、子どもたちが明るく楽しく成長していけるように食を守るとか食育とかそういったところに繋がっていくのかなと思う。住民生活に食というのはすごく大事なかなと思うので、そういう観点が欲しいなと思った。
会長	例えばまちづくりの基本目標の「住みよく安心できるまち」や「こどもの笑顔をつくるまち」の中に委員が言われたようなことを入れると、単に土地利用としての農地ではなくて農業というのが基本目標の中に謳われているということになるかなと思う。
委員	宇城市ではどうか分からないが、子ども食堂を開催するとか、あるいは、ひとり親世帯の勤労支援をするためには子供にちゃんと食べさせないといけないということで色々な手当をしたり活動があると思うので、そういったところと農業を繋いでやるのかというプロジェクトなんかを考えると、上位計画で子どもちゃんと食べさせようという理念が書かれていれば計画も立てやすいかなと思うので、ぜひ食べるということと繋げた形で書いていただければ。
井田会長	基本目標のどこにでも係るところ。産業のところできくと、「活力ある魅力的なまちづくり」の中に他にもまたがるような形で農業というのを付記すると良いのかなと思う。
井田会長	さっき委員が言われたTSMCはどうするか。県内への海外企業の進出とか、国家プロジェクトの誘致とかにすると良いのでは。
事務局	基本目標のところでは名称は出していないため、そちらと合わせる形で修正したい。

委員	<p>市民アンケート結果の旧町毎の集計はされているか。</p> <p>それぞれの拠点づくりというのが総合計画の中にあるが、その拠点というのはアンケート結果を基にそれぞれの地域にどういったものをつくっていくかということを検討されるということか。</p> <p>個別具体的にという段階になってきたときは、それぞれの町の特性と言うか、買い物に便利などということもアンケートに出てきているが、そうでない地区の人もいらっしゃると思う。そういった地域については、交通関係など、皆さんが使いやすいような形に持っていけないといけないと思うので、特性に合わせた拠点づくりでのまちづくりののをやっていただきたいと思う。</p>
事務局	<p>アンケート結果については旧町や男女別にも集計し、今後の業務の参考として庁内でも公開しており、色々施策を検討するときに活用してもらえらると思っている。また、拠点づくりについては町毎というだけでなく、隣り合った地域などは同じような課題をもっているところもあると思うので、そのようなことも含めて考えていきたい。</p>
井田会長	<p>今の質問に関連すると、19ページの前段にあるように、どの拠点も同じですよということではなくて、よりこの地域は得意というところを特化して行って、それぞれが補完し合うので、隣り合った地域など行き来する。それによって自分たちで自分たちのまちの交流を深めましょうということみたいなので。</p> <p>一応の生活はそれぞれの拠点でできる、しかしながら何でもかんでもあるということではなく、最低限の生活は必要で、少なくとも生活はできるというのが大枠になっているのかなと思う。</p>

(2) 令和7年度以降の宇城市総合計画審議会体制について

井田会長	<p>委員で共通しているのは県立大学、商工会、振興局の3つだけ。それぞれ全体で9団体あって、色が違う。有識者会議の方は商工系の方がほとんどで、審議会の構成とはまた違うと思うが、重なる3つ以外は全部一つにして18とか15の委員で回すということか。</p>
事務局	<p>有識者会議の方は国で望ましい構成などが示されており、そこについては今後も入ってもらいたい必要があるため取り込んで、その他の部分で今後どのような構成にするかということは考えていきたいと思っている。</p>
委員	<p>全然構成が違うので、どうされるのかなと思ったのと、組織が大きくなればなるほど会議の調整なども大変になるので、運営が大変になるんじゃないかなとちょっと心配した。その辺の中身がきちんと、それぞれの評価ができるのであればいいのかなとは思いますが。</p>
委員	<p>総合戦略の中に教育や医療、福祉などは入っているか。</p>
事務局	<p>今の計画にも入っており、次の計画にも入れる予定。</p>
委員	<p>私のイメージでは、まちひとしごとは人口減少と仕事の事中心で、教育・文化とかそういう話はちょっと合わないような気がしていたので、そこで議論されるのであれば良いが。</p> <p>やはり性質が違う気がするので、併せるのであれば内容をちょっと変えないといけないのかなと思う。事実上総合戦略の中身を変える、総合計画の下に位置付けるというような形にしないといけないのかなと思う。</p>
井田会長	<p>総合戦略は元々国が、地方が衰退しているから地方創生の名の下で、まちひとしごと、この「まち」というのが地方、人口減少だから「ひと」がないといけない、人がいるには「しごと」がないといけないということ。「まち・ひと・しごと」になっている。</p> <p>そうしたら、人が来れば委員が言われたように、教育であったり福祉であったり医療がいりますねという話。ただ、当時人口が来るためには産業でしようということだったのでそっちが看板に掲げられて、でも中では全部やっていた。</p> <p>総合計画審議会という名称がなじむのかというのは疑問だが。</p>
委員	<p>総合計画審議会でするべきことに総合戦略の方でするべきことが入っていないような。本来総合計画の方が大きいのだろうが。</p> <p>そこは内容が変わってくるので、そのまま総合計画審議会でするのか不思議な感じはする。</p> <p>建付けは変えないといけない。事実上有識者会議を廃止するという風に外からは見えるので、それが良いのかどうかという。</p>
井田会長	<p>総合計画と総合戦略を両方審議するのであれば、別途会の名称は別置した方が。総合計画審議会のままやりますとなると、総合計画審議会は総合計画だけでしょ、有識者会議は総合戦略だけでしょとなるので。</p> <p>総合戦略は国の法に基づいてやっていて、総合計画はそういうのではないので、法にぶら下がっているのは総合戦略だから、総合計画審議会での2つをやるというのはちょっと整合的ではないのかなと。</p> <p>一緒にするのは良いんだけど、それならば別途名称は作った方が良いのかなという気がする。</p>
委員	<p>進捗管理だけを一緒にやりますよという事であれば全然できると思うが、次の総合計画を立てる、総合戦略を立てるとなったときに、それはどこでするのかということもきちんとしておかないと、一つにしますというだけではまずいような気がする。</p>
井田会長	<p>最近の自治体の例なども確認して、整理していただければ。</p>
事務局	<p>再検討して、また提示する。</p>